

令和5年度
総合型選抜Ⅰ「へるん入試」

読解・表現力試験

注意

1. 問題紙は指示があるまで開いてはいけません。
2. 問題紙は4ページ、解答用紙は2枚です。指示があってから確認し、解答用紙の所定の欄に受験番号を記入してください。
3. 答えはすべて解答用紙の所定のところに記入してください。
4. 解答用紙は持ち帰ってはいけません。
5. 試験終了後、問題紙は持ち帰ってください。

1 以下の文章を読み、問1～問5に答えなさい。

夫婦でドイツへ海外旅行に行ったときのこと。私は美術館に、妻はデパートに行きたいということで、時間を決めて、しばらくのあいだ別行動をとった。そして、待ち合わせ時間に落ちあったあと、妻がひとりで買い物をしていたときの出来事を話してくれた。妻が言うには、デパートの婦人服売り場で服を手にとって見ていたとき、そばにいた見知らぬ女性が話しかけてきて、「その服はあなたにとってもお似合いだから、買った方がいい」と熱心にすすめてくれたらしい。私のほうは妻が英語もドイツ語もできないのを知っていたため、「でも、その女の人は何語でしゃべったの？あなたにお似合いだって言ったかどうか、どうやって分かったの？」と尋ねてみた。すると、「何語かどうかは分からないけど、その女の人が言っていることはよく理解できた」と妻は答えてくれた。

もちろん、妻が言っていることが本当に正しいのかどうかは今となっては確かめようがない。(a)、妻が「その女の人が言っていることはよく理解できた」ということは、十分ありうる話だと思った。まず、相手の話す口調や表情から、相手のいづく感情が敵意ではなく(A)であることは推測できる。くわえて、婦人服売り場という特定の状況のなかで話しかけられる内容は限られている。つまり、そこではもっぱら服のことが話題になるだろう。あるいは、日本人が日本人に対して服をすすめるしぐさと、その見知らぬ女性が外国語で話しかけたしぐさには、どこか似たようなところがあったのかもしれない。口調や表情、特定の状況やしぐさなど、こうしたことが合わさって、「目のまえの女性は私に服をすすめている」と妻は感じとったのだろう。そして妻が私に語る際には、相手が外国語で話していた言葉が、「その服はあなたにとってもお似合いだから、買った方がいい」という日本語に(B)されたのだと思われる。

コミュニケーションにおいて私たちがメッセージを受けとるのは、言葉によってだけではないことを、妻のエピソードは教えてくれる。妻の場合、自分の理解できない外国語で話しかけられたために、言葉以外のさまざまなことからひとつのメッセージを読みとったわけだが、同じ母国語を共有する話者同士の会話においても、表情やしぐさなどを手がかりにしながら相手の気持ちを察することはめずらしいことではない。人と人が対面で接すれば、喜びや悲しみは黙っていてもおのずと伝わるものである。

だが、そのような対面でのコミュニケーションが、ここ数年のコロナ禍においては制限されている。たとえば、私は大学教員であるが、これまで対面で行っていた授業や会議が、オンラインで実施されることが多くなった。たしかに、家にいたまま授業や会議に参加できるのは便利である。一方、私の周りでは、「オンラインよりも対面で実施したほうが議論が盛りあがる」というような対面形式を望む意見をよく聞く。小さなパソコンの画面では伝わりにくい表情や視線の変化、あるいは同じ場所を共有することではじめて分かる空気感など、これらはきっとその場にいる参加者同士の相互理解をうながす働きをもっているのだろう。

しかし、オンラインではコミュニケーションにおける言葉以外の構成要素の多くが失われてしまう。そのために、オンラインよりも対面の授業を望むような意見が出てくるのは当然だと思われる。

もちろん、以上のような話をしたのは、コミュニケーションにおける言葉の重要性を過小評価したいからではない。もし言葉がなければ、正確な情報のやりとりはきっと上手くいかないだろう。とはいえ、コミュニケーションの可能性を言葉だけに限定する必要はないということも、忘れるべきではないだろう。

問1 空欄（A）、（B）に入る適切な語（漢字二文字）をそれぞれ書きなさい。

問2 二重下線部アのように筆者が尋ねたのはなぜか。本文からぬきだして、25字以内（ぬきだした箇所に句読点がある場合はそれらを含む）で書きなさい。

問3 空欄（a）に入る適切な接続詞を書きなさい。

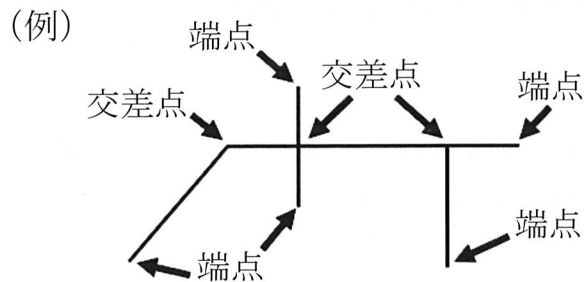
問4 二重下線部イのような意見が出る理由として、筆者はオンラインでの問題点をどのように述べているか。本文からぬきだして、30字以上40字以内（ぬきだした箇所に句読点がある場合はそれらを含む）で書きなさい。

問5 次の①～④について、本文で述べられた筆者の主張あるいは認識と合致しているものに○、合致していないものに×、をそれぞれつけなさい。

- ① 筆者は妻の言っていることが正しいとはまったく思っていない。
- ② 特定の状況だと、話題となることは限られている。
- ③ オンライン上で実施される会議にメリットはない。
- ④ 正確な情報伝達も含めたあらゆるコミュニケーションが、言葉がなくても問題ない。

2 以下の文章を読み、問1～問4に答えなさい。

みなさんは、「一筆書き」という遊びをしたことがあるでしょうか。この遊びのルールは、「線で描かれた図形を、鉛筆のような筆記用具を紙の上から一度も離さず、同じ線はなぞらず、描く」です。単純な図形でも一筆書きできるとは限りませんし、複雑な図形でも一筆書きできるものがあります。ある図形が一筆書きできるかどうかは、その図形を観察すると容易に判断することができます。まず、下の例のように、図形中の線と線が交差している点(交差点)と、線の端(端点)を探します。

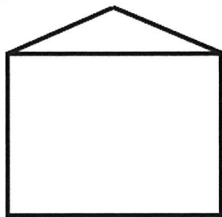


交差点と端点をまとめて「点」とよび、その数をAとします。次に、すべての点について、1つの点から伸びている線の本数が偶数になる点(偶数点)の数と、奇数になる点(奇数点)の数を数え、それぞれBとCとします。ある図形を一筆書きできる条件は、次のように表すことができます。

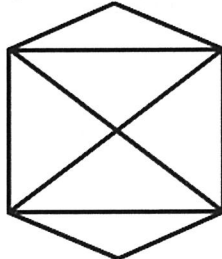
$$C = 0 \quad \text{または} \quad C = 2$$

これらのことを踏まえ、下に示す図形について、一筆書きできるか調べてみましょう。

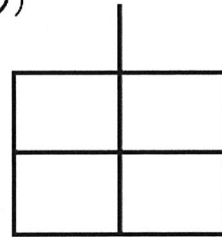
(ア)



(イ)



(ウ)



図形(ア)ではBは3、Cは2、図形(イ)ではBは7、Cは0、図形(ウ)ではBは6、Cは4になります。したがって、図形(ア)と(イ)は一筆書きできますが、図形(ウ)は一筆書きできないことがわかります。

問1 AをBとCを用いた式で表しなさい。

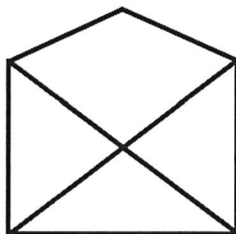
問2 以下は、 $C = 0$ の場合と、 $C = 2$ の場合についての説明である。空欄 (①) ~ (④) に入る適切な語を、それぞれ本文からぬきだしなさい。ただし、同じ語を異なる空欄に入れても構わない。

$C = 0$ の場合：すべての (①) が (②) である。

$C = 2$ の場合：すべての (③) のうち、(④) の数は2である。

問3 下に示す図形(エ)は一筆書きできないが、直線を1本加えることで一筆書きできる図形となる。

(エ)



(1) 解答欄に示した図形(エ)について、一筆書きできるように直線を1本加えなさい。

(2) (1)で解答した図形が一筆書きできると判断される理由を、「点」、「偶数点」、「奇数点」のすべての語を用いて、35字以上50字以内(句読点を含む)で説明しなさい。

問4 次の①~④について、本文の内容と合致しているものに○、合致していないものに×、をそれぞれつけなさい。

① 一筆書きでは、同じ交差点を通ることができる。

② どのような図形でも一筆書きできる。

③ 複雑な図形でも、一筆書きできるかを判断することは簡単である。

④ 一筆書きできるかを判断する上で最も重要なことは、偶数点の数を求めることである。